

7. 淡水魚類

兵庫県下で現在確認されている淡水魚類の外来生物は以下の8種である。

- ・ソウギョ
- ・タイリクバラタナゴ
- ・ニジマス
- ・カダヤシ
- ・ブルーギル
- ・オオクチバス
- ・カムルチー
- ・タイワンドジョウ

このうちソウギョ・ニジマスについては、現在のところ兵庫県において自然繁殖は確認されていない。カムルチー・タイワンドジョウは、1960年代には侵入・定着が確認され、広く西日本に分布を広げたが、オオクチバスやブルーギルの侵入に呼応してか、1980年代以降は減少傾向にあると言われている。カダヤシは、県南部の市街化地域の水路で繁殖しているがより自然度の高い地域への侵入は現在のところそれほど顕著ではない。しかしながらメダカやその他の在来魚の卵への捕食が予想されるため注意を要する種である。タイリクバラタナゴに関しては、その亜種ニッポンバラタナゴとの交雑が進み、純粋のニッポンバラタナゴの生息する水域は数えるほどに減少した。タイリクバラタナゴは、同じくイシガイ科の二枚貝を産卵母具とするタナゴ類との競合が予想されるが、極めて慎重かつ微妙な対応が必要である。

本報告書では、兵庫県での水域生態系を大きく攪乱している、また攪乱すると予想される種、かつ「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律」で特定外来生物に指定される予定の、オオクチバス、ブルーギル、コクチバスについての生態、移入過程、県下の分布情報、影響、被害状況、対策事例、県の対策案をまとめた。